

協働の森パートナーズ協定

交流活動イベントのレポート

人が森を助ける。
森が人を助ける。



Collaborative Forest Restoration with
Environmentally Progressive Companies.

「環境先進企業との協働の森パートナーズ協定」については、
高知県林業振興・環境部林業環境政策課のHPをご覧ください
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/kyoudounomori.html>

協定企業：電源開発株式会社様
開催場所：安田町東島、魚梁瀬ダム
「清流安田川を育む森」
開催日：令和5年10月12日（木）
参加者数：30名
（電源開発株式会社、安田中学校、
安田町、高知東部森林組合、
（一社）高知県森林整備公社、
高知県）



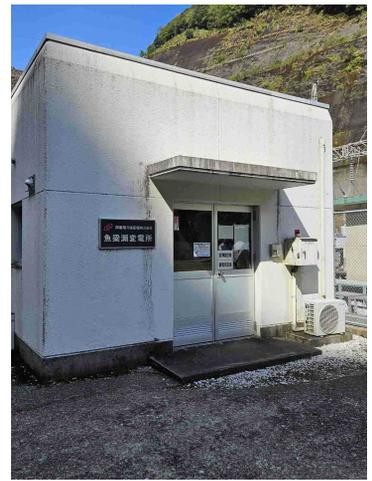
この交流活動は、電源開発株式会社様、安田町、高知東部森林組合、（一社）高知県森林整備公社、高知県が連携して安田川流域の環境保全を一層推進していくための取り組みです。
また、次世代を担う子どもたちにも森林やダムの役割を学んでもらうため、安田中学校の生徒たちに、森が水を育みその水が電気として利用されることなどを「体験教育・交流」のテーマとして実施している事業です。

<間伐体験の様子>



車中では、事前に間伐等の説明がありました。現地到着後は高知東部森林組合、森林整備公社の職員の方々から安全教育を受けて間伐を開始しました。大人に見守られながら、不安定な斜面でも上手に足場を確保し、間伐を予定していた木を次々に伐っていきます。

<魚梁瀬ダム・発電所見学の様子>



昼休憩を取った後は、魚梁瀬ダムの見学でした。電源開発株式会社の社員の方々の案内のもと、普段は入ることのできない内部の様子を見学することができました。

ダムの必要性やしぐみについて書かれた資料をいただき、わかりやすく説明していただきました。



発電所の見学では、魚梁瀬発電所は水力発電所であること、水車や発電機のしくみについても丁寧に教えていただきました。この交流活動が、故郷の環境保全について考えるきっかけとなったらとても嬉しいですね。

ご協力いただきましたみなさま、どうもありがとうございました。



人が森を助ける。
森が人を助ける。



Collaborative Forest Restoration with Environmentally Progressive Companies.